

観光社会資本の事例

テーマ	新市の観光重要拠点として期待 「道の駅 ^{くろいさん} :黒井山グリーンパーク」
【施設の状況写真】	
	
<p>道の駅「黒井山グリーンパーク」は岡山ブルーライン無料化に伴い来場者が大幅に増加。京阪神等から多くの観光客が訪れています。</p>	<p>ゆうゆう交流館は農水産物の直売施設。ギャラリーを併設し文化観光情報も発信しています。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>ゆうゆう交流館前で毎月開催される新鮮野菜リヤカー市。地元の人と観光客の交流の場となっています。</p>	<p>イベントでは地元の太鼓も披露され、来場者の人気を集めています。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>道の駅「黒井山グリーンパーク」は岡山県東南部の風光明媚な景色の続く岡山ブルーライン（県道^{そうごほんじょうおかやま}寒河本庄岡山線）沿線に位置し、年間80万人の観光客が訪れています。</p> <p>この道の駅に平成16年4月オープンした「ゆうゆう交流館」では、瀬戸内市特産の新鮮な農水産物や伝統工芸品等を販売しています。また併設するギャラリーでは、各種イベントも開催され地域の文化観光情報を発信しています。この他、プールやラジコンコース、ミカン園などのレジャー施設があり、買物だけでなく意外な楽しみ方ができます。</p> <p>瀬戸内市は平成16年11月に、「日本のエーゲ海・牛窓」、「夢二のふる里・邑久」、「刀剣の里・長船」の3町が合併して誕生したばかりで、同パークは観光の重要拠点として期待が高まっています。</p>	

テーマ	新市の観光重要拠点として期待「道の駅:黒井山グリーンパーク」
【社会資本の基礎データ】	
○名称	道の駅 黒井山グリーンパーク
○所在地	おokayまけんせとうちしおくちょうむしあげ 岡山県瀬戸内市邑久町虫明5231-1
	(岡山ブルーライン(県道寒河本庄岡山線) ^{そうごほんじょうおokayま} は有料道路として県道路公社が 建設管理していたが、平成16年4月から無料化)
○事業主体	岡山県道路公社(「ゆうゆう交流館」は、瀬戸内市)
○事業期間	昭和46年～昭和52年(道の駅登録 平成8年)
【社会資本の役割・効果】	
○休憩機能	道路利用者が気軽に休憩所として利用できることにより、交通事故防止に役立っています。
○情報交流機能	「道の駅」利用者に、道路交通情報の提供を行っていると共に、地域の文化や歴史、名所や特産物の魅力を紹介する情報発信基地として、地域と利用者をつなぐ地域に根ざしたふれあいの場ともなっています。
【位置図】	
【関連ホームページ】道の駅の紹介 http://www.pref.okayama.jp/doboku/dosei/eki5.htm	